

「人権・福祉」 ～誰もが暮らしやすい社会の実現をめざして～

全教科での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●各教科の内容や特性に応じて、人権尊重についての認識を深める内容を積極的に取り上げています。 ●掲載する写真やイラストは、性別の偏りがないようにするとともに、色づかいや服装についても配慮しています。 						
国語	書写	社会・地図	算数	理科	生活	家庭	保健
<ul style="list-style-type: none"> ●基本的人権を尊重し、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画する能力と態度を養うよう、公共の福祉に関わる教材を積極的に取り上げました。 ●「もうどう犬の訓練」→3下 p.49 ●「いろいろな伝え方を知ろう」→3下 p.122 ●「『ゆめのロボット』を作る」→4下 p.101 ●他者理解や相互敬愛に基づき、協調、協力しながら共に生きる態度を育成する教材を重視しました。 ●「みんなのせかい」→1上 p.1 ●「『ありがとう』をつたえよう」→2上 p.118 ●「こわれた千の楽器」→4上 p.11 ●「風切るつばさ」→6年 p.51 ●「生活の中の言葉」→2下 p.59, 3上 p.53, 4下 p.49, 5年 p.83, 6年 p.77 	<ul style="list-style-type: none"> ●毛筆教材に自分の成長や人とのつながり、福祉について考えることのできる文言を選択しました。 ●毛筆教材「手話」→4年 p.32-33 ●毛筆教材「成長」→5年 p.10-11 ●毛筆教材「きずな」→5年 p.14-15 ●生活に広げる教材の題材として、自分の名前を書く教材を設けました。また、「文字にこめられた思い」を考える教材として命名紙を取り上げました。自分の名前を大切にすることによって、自己を尊重する思いにつながるようにしました。 ●「なまえをかこう」→1年 p.16-17 ●命名紙→6年 p.49 	<ul style="list-style-type: none"> ●人権についての科学的認識を深めるための教材を充実させるとともに、人権・福祉に関わる社会の働きや人々の取り組みを随所に取り上げ、将来にわたって基本的人権を尊重する知識と態度を養うことができるようにしました。 ●スーパーマーケットのバリアフリー→3・4上 p.65 ●「アイヌ民族を先住民族とすることを求める」国会決議→5上 p.58 ●個人情報の保護→5下 p.78-79 ●社会を変える情報—福祉と情報化→5下 p.88-89 ●歴史上差別されてきた人々の姿→6上 p.59, 72-73, 82-83, 94, 97, 103, 109, 123等 ●これからの日本と人権の保障→6上 p.150 ●市の政治と福祉事業→6下 p.4-17 ●まちのユニバーサルデザイン→6下 p.40-41 ●識字・多文化共生学級→6下 p.44 ●基本的人権の尊重→6下 p.44-45 ●国民主権→6下 p.46-47 	<ul style="list-style-type: none"> ●常に公平な立場で他者と接する態度が身に付けられる場面や活動を取り上げました。 ●友だちの考えを理解し、説明する→2下 p.44-45, 3上 p.14-15, 4上 p.32-33, 5上 p.20-21, 6年 p.30-31等 ●友だちの考えを聞いてノートに気付きを書く→2下 p.47, 3上 p.17, 4上 p.35, 5上 p.23, 6年 p.33等 ●高齢者、障がいのある人に関わることについて取り上げ、共生の視点に気付けるように配慮しました。 ●スロープの傾斜の角度→4上 p.36 ●地域のお年寄りから路面電車のお話を聞く→5上 p.118-119 ●高齢運転者標識、聴覚障害者標識、優先席マーク→6年 p.19 ●車いすマラソンの時速→6年 p.115 ●日本の少子化、高齢化調査→6年 p.174 	<ul style="list-style-type: none"> ●生命の尊さを感じ、共生の立場に立って、他者や自然と向き合いながら学習が進められるようにしました。 ●植物や動物を大切に育て、扱うことを通して、自然との共生の視点に気付くことができるようにしました。→植物・動物単元全般 ●「人のたんじょう」の学習を通して、母親と胎児の関わりや男女の共生の視点を提示しました。→5年 p.114-122 ●植物や動物の生命のつながりの学習を通して、生命の尊さが理解できるようにしました。→5年 p.124-125 ●災害から地域や国を守る活動について紹介しました。→6年 p.126-127 ●地域の環境を守る活動や取り組みを取り上げました。→6年 p.190-192 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真や挿絵で登場する児童や地域の人、家の人の数や役割などは、性別による偏りなどないように配慮しました。 ●多様な人々との触れ合いに関心をもてるよう、身近な幼児や高齢者、障がいのある児童、外国の人などとの関わりを、写真や挿絵の中に、さりげなく示しました。 ●家庭単元や成長単元の構成、学習活動は、児童の多様な家庭環境に十分配慮しました。 ●「じぶんでできるよ」→上 p.79-85 ●「あしたへジャンプ」→下 p.91-101 ●多様な人々が暮らしやすくするために工夫された施設・設備を掲載しました。 ●公園の設備→上 p.95 ●地域の施設・設備→下 p.30-31, 60-61, 62-63等 ●「まちの あんぜん」→下 p.8 ●「まちの くふう」→下 p.68 	<ul style="list-style-type: none"> ●幼児や高齢者、地域の人々、障がいのある人々との関わりを通して、共生の視点に気付くことができるように配慮しました。 ●家庭科を学ぼう→p.4 ●「1わが家にズームイン！」全体→p.6-11 ●「5めざそう買い物名人」イラスト→p.36-37 ●「8 私の仕事と生活時間」全体→p.62-63 ●「10 夏をすずしくさわやかに」イラスト→p.72-73 ●「自由研究 わが家のきずなアップ作戦」→p.81 ●「13 冬を明るく暖かく」イラスト→p.102-103 ●「14 あなたは家庭や地域の宝物」全体→p.108-113 ●「持続可能な社会をめざして」→巻末の折り込み 	<ul style="list-style-type: none"> ●障がいのある友達とのふれあい→3・4年 p.2 ●体の発育の個人差→3・4年 p.18-19 ●心の発達の個人差→5・6年 p.2-3 ●不安や悩みと人との関わり→5・6年 p.8 ●よりよいコミュニケーション→5・6年 p.9 ●スロープ、点字ブロックなどの安全施設の整備→5・6年 p.17, 19 ●ともに生きる(エイズの正しい理解)→5・6年 p.35 ●地域の保健活動→5・6年 p.46-47 ●子どもを守る取り組み→5・6年 p.49 ●いじめ防止の新聞記事→5・6年 p.51